

……読者からの声……
「ひとこと感想」第2便を
お読みください

大好評！

西東京市と協働で刊行。A4判、70ページ

●2月1日から無料配布

- ・配布場所：西東京市内図書館・公民館、市民協働推進センターゆめこらぼ、田無総合福祉センター、男女平等推進センターパリテ（住吉会館内）。
- ・西東京市内図書館、ゆめこらぼ、パリテなどで閲覧できます。
- ・また、市外の方などには郵送も可能です。数に限りがございますので、生活企画ジェフリー渡辺（042-467-2089）迄お早めにご連絡下さい。



3.11から10年

東北被災者と西東京市の人びとが訪れた日々



「ひとこと感想」—第2便— ありがとうございます

- 丹精のご本、素晴らしいの一言。西東京市の宝物です。
- 被災者 16名の今の声、圧巻でした。これだけでも1冊になるのではないかとこの量です。被災当時のお話は今でも胸に迫り、10年間の生活再建へのご努力や故郷を思う気持ちが心に沁みました。
- なによりの記事は、第1章の16人も被災者お一人おひとりの言葉です。貴重な記録をありがとうございました。
- 被災地に派遣された市の職員の感想は、通り一遍の「視察報告」ではなく、実際身を置いた体験からくるもので、一気に読んでしまいました。
- この冊子は、忘れてはいけない3.11とそれからの10年を、これから活かし繋ぐ教科書です。
- NPO、社協、市職員、市民団体・企業やメディアがそれぞれの形で支援を果たされていたんですね。それが今回の事業（冊子編さん）で一体化を成し遂げた、その扇の要となっていたのが生活企画ジェフリーだったんですね。
- 10年間、被災者に寄り添い支援を続けていらっしゃる姿勢に改めて感謝と敬意を表します。
- 新型コロナウイルス感染拡大による影響で活動が自粛される中にありながら皆さまが困難な条件を克服しながら完成をみた冊子作成に心から尊敬と敬意を表します。
- 被災された避難者の方々のお話を読んで、本当につらい経験だと胸が痛みました。
- 想像していたより立派な冊子で驚かされました。

- はじめに「私は忘れない」という言葉で始まり、裏表紙の「ともに生きるあなたへ」の言葉で終わる…心に残るものです。
- 表紙もレイアウトも素敵。字がいっぱいあっても読ませちゃいますね。
- 3.11はまだまだ終わってない、忘れてはいけないという思いを強くしました。
- 志賀さんの「福島県ではウィズ放射能はこれからずっと続くのです」に、大変さが実感できました。
- 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が出される中、3.11から10年の節目の今年に発刊する、そのために並々ならぬご苦労をされたことでしょう。お疲れさまでした。そしてありがとう。
- 皆様の様々な活動記事に加え、数多くの写真掲載で活動のすばらしさがなお一層伝わってきました。
- 参加の各団体の10年のお働きに敬意を表します。
- 第1章を読むと、お一人おひとりの声が聞こえるようで止まりませんでした。大変でしたね。お元気でいてくださって嬉しいです。
- 生活企画ジェフリースタッフの少ない人数でも力強い、きめ細かい心配りに感動しました。優しいことは強いことです。
- 避難者が多くの人たちに支援され、つながっていたことを知りました。昨日の地震も怖かったですね。いつ、何が起こるかわかりません。人とのつながりを大切にしたいです。

（読者の方々から届いた感想一部紹介。2021年2月16日現在）